平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名　三浦印刷株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7920　URL　http://www.miura.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 三浦　剛治
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 北岡　一男　TEL 03-3632-1111
四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,257	△8.1	△78	—	△105	—	△356	—
23年3月期第2四半期	7,895	4.4	24	—	△8	—	△472	—

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△610百万円　(—%)　23年3月期第2四半期　△992百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△15.09	—
23年3月期第2四半期	△20.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,104	4,539	32.2
23年3月期	16,671	5,149	30.9

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　4,539百万円　23年3月期　5,149百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00			
24年3月期(予想)			—	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	△5.3	100	△39.4	70	△30.7	△230	—	△9.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	24,745,848 株	23年3月期	24,745,848 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,130,419 株	23年3月期	1,129,985 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	23,615,596 株	23年3月期2Q	23,618,977 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表等 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、平成23年３月11日に発生いたしました東日本大震災の影響による急激な落ち込みから回復しつつあるものの、米国経済の失速や欧州の財政不安による円高の進行により、極めて不透明な状況で推移いたしました。

印刷業界におきましては、ＩＴ化に伴う印刷物需要の低下及び受注競争の激化による単価下落により、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、平成23年９月18日、おかげさまで当社グループは創業80周年を迎えることができました。創業以来「お客様に心から満足していただける製品・サービスの提供を通して、豊かな社会づくりに貢献する」ことを使命として事業活動を行ってまいりました。この節目の年を将来の成長に向けた新たなスタートと位置づけ、早急に対処すべき課題である「企画提案力・新規開拓力の強化」、「材料調達から物流に至るトータルでのコストダウン」、「駐車場事業の立て直し」等に取り組んでまいりました。

印刷事業におきましては、営業面では売上拡大を図るため、営業スタイルの変革に向け、今期新たに設置しました「営業戦略部」を中心に、マーケティング力強化に努めてまいりました。また、多様化するお客様のニーズに対応し、新領域・新市場の開拓を促進するため、クリエイティブ部門の再編・統合を行い、ＥＣ（電子商取引）サイトの運営やＡＲ（拡張現実）技術を用いた新たな販促・プロモーションの提案を開始いたしました。

生産面では、お客様の課題に対して最適なソリューションを提供できるよう、今後成長が期待できるプリントオンデマンドのワークフロー及び設備体制の再構築を図ってまいりました。また、商圏の拡大を図るため、カラーマネジメントシステムを利用した地方印刷会社とのネットワーク構築への取り組みを始めました。同時に、市場競争力を強化するため、物流改革及び生産性向上による内製化促進、製造原価の低減に努めてまいりました。

駐車場事業におきましては、営業人員を増強し、新規事業地の開設を促進するとともに、既存事業地のリニューアルに注力してまいりました。また、リニューアルに際し、付加価値の向上を目指し、フラップレス機器の導入を開始いたしました。その他、収益力を強化するため、地代の見直しやカーシェアリングへの車室転貸しの拡大を図ってまいりました。

以上のような施策に取り組んでまいりましたが、上述の厳しい経営環境のもとで、当第２四半期累計期間の売上高は72億５千７百万円となり前年同期に比べ8.1％の減収となりました。

利益面では、営業損失７千８百万円（前年同期は営業利益２千４百万円）、経常損失は１億５百万円（前年同期は経常損失８百万円）、四半期純損失は３億５千６百万円（前年同期は四半期純損失４億７千２百万円）となりました。

なお、当社グループの印刷事業につきましては、売上高63億１千１百万円（前年同期比7.7％減）、営業損失１億２千５百万円（前年同期は営業利益２千５百万円）となりました。

連結子会社㈱ミウラクリエイトが運営しております駐車場事業につきましては、売上高９億３百万円（前年同期比13.8％減）、営業利益３千９百万円（前年同期は営業損失３百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ25億６千７百万円の減少となり、141億４百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少等によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度に比べ19億５千７百万円の減少となり、95億６千４百万円となりました。これは主に、長期借入金及び１年内償還予定の社債の減少等によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度に比べ６億１千万円の減少となり、45億３千９百万円となりました。これは主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。この結果、自己資本比率は32.2%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度と比較して22億８千４百万円の減少となり、21億６千５百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、１億８千３百万円の支出となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失及び投資有価証券評価損の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、３億３千４百万円の支出となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出及び投資有価証券の売却による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、17億６千６百万円の支出となりました。

これは主に、長期借入金の返済及び社債の償還によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、平成23年10月27日に公表いたしました通期連結業績予想は変更しておりません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第２四半期連結累計期間末の棚卸高の算出に関しては、継続記録による帳簿棚卸を実施しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,449	2,165
受取手形及び売掛金	3,068	3,262
製品	30	50
仕掛品	191	321
原材料及び貯蔵品	59	80
その他	268	247
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	8,059	6,118
固定資産		
有形固定資産	3,588	3,649
無形固定資産	77	65
投資その他の資産		
投資有価証券	3,906	3,315
その他	1,103	1,019
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	4,946	4,270
固定資産合計	8,612	7,985
資産合計	16,671	14,104
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,955	1,961
短期借入金	1,911	1,895
1年内償還予定の社債	300	37
未払法人税等	17	11
賞与引当金	116	116
その他	598	409
流動負債合計	4,900	4,431
固定負債		
社債	1,470	1,432
長期借入金	4,409	2,967
繰延税金負債	184	170
役員退職慰労引当金	455	456
その他	102	106
固定負債合計	6,621	5,133
負債合計	11,521	9,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,215	2,215
資本剰余金	2,230	2,230
利益剰余金	1,486	1,130
自己株式	△393	△393
株主資本合計	5,538	5,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△389	△642
その他の包括利益累計額合計	△389	△642
純資産合計	5,149	4,539
負債純資産合計	16,671	14,104

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	7,895	7,257
売上原価	6,443	5,995
売上総利益	1,452	1,261
販売費及び一般管理費	1,428	1,339
営業利益又は営業損失（△）	24	△78
営業外収益		
受取利息	5	1
受取配当金	45	41
物品売却益	22	25
その他	7	6
営業外収益合計	82	74
営業外費用		
支払利息	107	92
その他	7	9
営業外費用合計	115	101
経常損失（△）	△8	△105
特別利益		
有形固定資産売却益	－	5
投資有価証券売却益	－	26
貸倒引当金戻入額	3	－
役員退職慰労引当金戻入額	0	－
特別利益合計	3	32
特別損失		
減損損失	74	－
固定資産除売却損	33	23
投資有価証券評価損	－	262
特別退職金	356	－
貸倒引当金繰入額	1	－
賃貸借契約解約損	－	0
特別損失合計	466	286
税金等調整前四半期純損失（△）	△471	△359
法人税、住民税及び事業税	4	4
法人税等調整額	△3	△7
法人税等合計	0	△3
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△472	△356
少数株主利益	－	－
四半期純損失（△）	△472	△356

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△472	△356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△519	△253
その他の包括利益合計	△519	△253
四半期包括利益	△992	△610
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△992	△610

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△471	△359
減価償却費	251	199
減損損失	74	－
特別退職金	356	－
投資有価証券評価損	－	262
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△11	1
賞与引当金の増減額（△は減少）	△73	△0
受取利息及び受取配当金	△51	△42
支払利息	107	92
売上債権の増減額（△は増加）	△276	△194
たな卸資産の増減額（△は増加）	△142	△171
仕入債務の増減額（△は減少）	299	5
その他	93	86
小計	156	△122
利息及び配当金の受取額	51	42
利息の支払額	△107	△95
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	3	△8
特別退職金の支払額	△356	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	△252	△183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	200	－
有形固定資産の取得による支出	△330	△494
無形固定資産の取得による支出	△0	△21
投資有価証券の取得による支出	△3	△0
投資有価証券の売却による収入	60	124
その他	27	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46	△334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,800	－
短期借入金の返済による支出	△1,800	－
長期借入金の返済による支出	△263	△1,458
社債の償還による支出	－	△300
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△4	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268	△1,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△567	△2,284
現金及び現金同等物の期首残高	4,355	4,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,788	2,165

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。